

牧羊ひろば



神の国キリスト教会 教会学校

●教会について

神の国キリスト教会は今年で創立74年を迎えます。創立以来、岡山駅から北東に1.5kmほどの、岡山市中心部にあります。故長島幸雄牧師の頃から教会学校は活発にもたれていたようです。しかし、筆者が結婚して神の国キリスト教会に转会してきた19年前は、郊外に家を持たれる方が多く、市中心部はドーナツ化現象で、教会周辺は高齢化し、子どもが少なくなるという状況が続いており、周辺の学校も統廃合していました。教会員の方も同様に郊外に家を持たれる方が多く、日曜日朝の教会学校は開店休業のような日もありました。

しかし、教会から一番近くの小学校が最新設備の建物になったり、生活の利便さからか、都心回帰の動きが見られ、近所にマンションや新築の家がどんどん建ち始め、近所に子どもを多く見かけるようになっていきます。教会

学校教師を長年続けて下さった老姉妹の「若い人々が市中心部に住めるように。子ども連れの家族を呼びもどして下さい。」との祈りに神様は答えて下さったのです。



普段の教会学校の様子

●日曜日の教会学校

現在、教会学校（日曜日朝9時～10時）には毎週、幼児から中学生まで8名ほどの教会員や近所の子ども達が

集っています。司会とメッセージは丸山真理師と筆者夫婦でローテーションしています。

普段の教会学校は小さな礼拝形式から始まります。讃美、主の祈り、祈り、聖書、暗唱聖句、メッセージ、献金、感謝の祈り、讃美歌です。その後牧羊者のワークをします。暗唱聖句では「言える人！」という司会者の声と同時に我先にと活発に手が上がります。また、最後の讃美は教会暦やその日のメッセージに合わせて選ぶこともありませんが、リクエストの讃美の日もあります。「王様の名前（列王紀）の歌」や「聖書名目づくし」など覚え歌が人気です。

小野淳子師時代に作られたと思われる、「じのないえほんの歌」の大きな字のない絵本が見つかり、教会学校でそれを使って歌ったら、子ども達が夢中になり、こぞって、字のない絵本を自分で作っていたこともありました。これらを使って、礼拝の中で教会学校の子ども達が讃美した時「讃美の内容もとてもよくわかった」と言ってくださった教会員の方がおられました。子どもにもわかりやすい歌は、大人にも伝わるのだなと感じました。



紙芝居をしてくださるあがば・さんたち

●みんなで一緒にの礼拝

（イースター、デイキャンプ、クリスマス）

年に3回、礼拝の中でも、子ども達向けのプログラムを準備しています。教会学校が終わると帰ってしまう子ども、教会学校に来られなくて、礼拝には家族と一緒に来ている子どもたちも、一緒に礼拝することができます。

また、教会学校の働きを教会の皆さんに知っていたりすることもできます。プログラムのお楽しみの一つは紙芝居です。「あがば」という名前のグループでその日のテーマにあわせて毎回紙芝居をしてくださいます。回を重ねるごとに細工が凝ってきていて、大人も楽しめます。紙芝居の後には必ずお話しクイズが5問出て、賞品がもらえるので、子ども達は静かに聞きますし、クイズの時も一番に手を上げようと待ち構えています。



紙芝居の後、お話しクイズに答える子どもたち

●イースターのエッグハント

イースターでは玉子型のみことばカードを前日に礼拝堂のイスの見えない部分に貼り付けて隠し、当日エッグハントをします。大人も子どもも参加できます。見つけたら、チョコエッグ（市販品）がもらえます。大当たりのカードが1枚あるのですが、隠すのが上手すぎるのか、このイベントを始めてから、まだ一度も見つかっていません。



デイキャンプにおける流しそうめんの様子



デイキャンプでヨーヨーつりをするこどもたち

●デイキャンプの流しそうめんやスイカ割り等

7月の夏休みに入る前後に、デイキャンプを行います。礼拝終了後、教会の駐車場で教会員の方々も一緒に流しそうめんをするのが恒例となっています。そうめんだけでなく、ミニトマト、果物、ゼリー、ソーセージ、おもちの金魚まで流れてくるので、子どもも大人も毎年、

次は何が流れてくるのかとワクワクしています。食べ終わったら、スーパースポーツや水風船、おもちや釣りができます。また、その日礼拝中に聞いた紙芝居のお話に合わせた工作やゲームなどをします。スイカ割りも恒例になっており、古典的とも言えるゲームに、子どもも大人も「右だよ」「あ！ちよつと行き過ぎた」などと声をかけながら、夢中で参加しています。

●クリスマスのミュージックベル、表彰式

ここ数年、教会学校に休まず来る子が増えて、クリスマスのために、ミュージックベルの練習をすることができるようになりました。クリスマスの讃美歌の中から1曲、10月の終わり頃から練習して、クリスマス礼拝の中で演奏しています。昨年で3回目になりました。役割を与えられることがうれしいようで、練習も楽しいようです。最初は階名で讃美歌を歌って覚えます。教会学校の最後10分ほどの少ない練習時間ですがクリスマスには、まとまった演奏になっています。

また、教会学校の出席数に応じて、皆勤賞、精勤賞を丸山牧師より表彰していただきます。この3年間の皆勤

賞のうちの1名は、昔、神の国キリスト教会の教会学校に
来られていた方のお子さんで、当教会で蒔かれてきた
種の業を見させていただいております。



クリスマス礼拝ではミュージックベルの演奏と賛美をしました

●お年玉スペシャル

1月最初の教会学校はお年玉スペシャルです。この日
はワークをお休みして、聖書かるたを教会学校の子ども

たちでします。小さい子には少しハンディをつけます
が、基本的には真剣勝負です。毎年同じかるたを使用し
ていますが、とても盛り上がり、聖書の内容も知る
ことが出来るので、一石二鳥です。クリスマスに撮った
写真と、かるたを
取った枚数に応じ
て、賞品をもらう
ことができます。



クリスマス礼拝のときの集合写真



デイキャンプではお話に関する工作をした

●今後の課題

「御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。」Ⅱテモテ4・2

神の国キリスト教会の特別伝道集会、バーベキュー、讚美礼拝とデイキャンプ、バザー、クリスマスなどは教

会外の方に向けて積極的にアピールできる行事です。これらの行事は周辺の方にも知られており、行事前に教会前に入る特大看板を見てお子さんを連れて来られる方も多くおられます。これらの行事に来ている子ども達、また、普段教会の周りで見かける子ども達に種を蒔くことができるように願っています。また、今来ている子ども達が今後も教会につながり続けて、しっかりとした信仰生活を歩むことができるよう祈り続けなければいけないと思っております。

(永井容子)